



学校目標 ふるさとを愛し、共に学び、心豊かにたくましく生きる「仁比山っ子」の育成

にこにこ笑顔であいさつ いっしょうけんめい無言で掃除をする やさしさいっぱいなかよくする子
まじめにこつこつ勉強する子 ◎ こころと体をきたええ 進んで運動する子

修学旅行

10月14日(木)
～15日(金)は6年
生、15日は全学年の

「修学旅行」でした。コロナ禍の中、各学年共に新型コロナウイルス感染防止対策と向き合い「予定通りの活動はできないのではないか」と不安になりながら、計画を進めていきました。修学旅行の行き先や活動内容など、各学年の担任を中心に何回も検討を重ね、代案まで準備しておいた修学旅行でした。どの学年も無事に実施することができ、保護者の皆様のご理解とご協力があったのことに感謝しております。1・2年生は、「JR神埼駅」「福岡県青少年科学館」「久留米市鳥類センター」、3・4年生は、「マンワールド」「福岡タワー」、5年生は「丸秀醤油」「唐津城」「鏡山」、6年生は、1泊2日で長崎市へ行きました。私は、6年に引率しましたので、6年生の修学旅行の一部を紹介します。

追悼平和記念館に到着し、平和集会を行いました。担当の子どもたちが進行を行い、緊張感を持ち、真剣な雰囲気の中、会は進みました。全校で折った「平和への願いを込めた鶴」も捧げました。追悼平和記念館の中は上の方から光が差し込んで見えます。子どもたちのまっすぐな平和への思い、長崎が経験した悲しみ、これからの平和な世界への希望などを象徴しているようでした。「今日の平和集会では、千羽鶴を捧げたり、平和への誓いを述べたりして、戦争や平和への意識を改めて確認することができました。この思いが平和な社会へとつながっていくように、私たちにできることは何かをしっかりと考え、自分にできることを実践していきたいと思います。」一終わりの言葉で平和集会を終えました。(「平和への誓い」は裏面に載せています)

その後、「長崎原爆資料館」の見学をしました。戦争の悲惨さと平和の大切さを学び、平和な世界にするにはどうしたらいいのか、しっかり考えられたと思います。「被爆者の店」で原爆被爆体験や被爆者の方々のご苦労などを話してくださった長野靖男さんの話は、原爆の悲惨さを知るとともに平和を願う気持ちを更に強くもつことができました。



1・2年生 青少年科学館 神埼駅



3・4年生 福岡タワー マリンワールド



5年生 丸秀醤油 唐津城

6年生 追悼平和記念館「平和集会」



長崎原爆資料館



平和公園に到着し、平和祈念像の前での写真撮影、昼食後は、「フィールドワーク」でした。「総合的な学習」の時間に、各グループで見学する場所や施設などの計画を立てていました。平和公園を出発し、それぞれのグループでまわり、平和公園に集合



します。1日目のフィールドワークは、道に迷ったり、計画通りにいかなかったりしたグループもありましたが、全員、無事に平和公園へ集合することができました。



宿泊ホテルでは、入館式もきちんとした態度で臨みました。その後、おいしい夕食、見学したことのまとめ、自由時間、入浴タイムなど、楽しい時間を過ごすことができました。

2日目、朝食後、退館式で宿泊ホテルを出発。最初の見学は「長崎歴史文化博物館」です。長崎市の歴史や文化について学ぶことができました。ここを出て、いよいよ2日目のフィールドワークの始まりです。



2日目のフィールドワークは、昼食時までにグラバー園側のオランダ物産館に集合です。1日目と同じようにグループで協力して、計画していた場所や施設を探し、見学・学習していきました。道に迷ったり、計画通りにいかず予定を変更したりするグループもありましたが、全員、無事に集合場所に到着し、昼食をとることができました。昼食後は「お土産タイム」、自分に、家族に、親戚に、とお土産を選んでいました。



2日間、6年生の子どもたちは、ルールやマナーを守って施設を巡り、見学・学習し、識見を深め、平和への思いを強く心に刻みつけました。



平和への誓い

○平和学習を通して戦争で悲しい経験をした人、今も悲しい経験をしている人がたくさんいることを学びました。私たちは、この世界がいつまでも平和になることを願っています。

○一つの原子爆弾で広島・長崎あわせて30万人もの尊い命が失われるのは、許せないし忘れてはいけないと思います。私は、多くの人を苦しめた戦争を絶対許しません。人の命をうばう戦争には、「反対」の声を出し続けます。

○戦争は人の家族を奪い、いままで幸せに暮らしていた人たちをつらい目にあわせたり、ひどいことをしたりします。みんな仲良く思い合う心を持ち、仲間との絆を大切にしたいです。そして、世界もそうなってほしいです。

○戦争で何十万人もの人が亡くなりました。家族と離れ離れになったり、悲しんだりしました。相手を理解するために語り、人と人がつながることで、平和を守っていきたいです。

○戦争を起こすのは簡単です。しかし、戦争をやめて国を元通りに戻すには何十年もかかります。当たり前のように感じている戦争のない平和な世界がどれだけよいものか、実感しています。感謝の気持ちをもつことで、争いをなくしていきたいです。

○戦争に苦しんだ人々の生き様を、戦争で亡くなった方々の死を、決して無駄にはしてはいけません。いつも笑顔で、生きている今を大切に、全力で生きていきたいです。

◎私たちは、多くの人々を傷つけて不幸にする戦争に反対します。

◎戦争をなくして世界中の人々が平和で幸せな暮らしができるように努めることを誓います。

◎誓います。

○仁比山小学校 6年生一同